

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和6年度 第2回相模原市スポーツ推進審議会		
事務局 (担当課)		市民局 スポーツ推進課		
開催日時		令和7年3月26日(水) 午後3時00分～午後5時00分		
開催場所		相模原市役所 会議室棟1階 第2会議室		
出席者	委員	8人(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	7人(スポーツ文化担当部長 他6人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 あいさつ 2 議 題 令和7年度相模原市スポーツ団体事業費補助金の交付について 3 報 告 令和7年度相模原市スポーツ事業の予算概要等について		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局の発言）

1 あいさつ

開会に先立ち、スポーツ・文化担当部長及び安井会長からあいさつを行った。

2 議題

【令和7年度相模原市スポーツ団体事業費補助金の交付について】

事務局の説明後、審議を行い、令和7年度相模原市スポーツ団体事業費補助金の交付は適当である旨、市へ答申することが承認された。主な意見は次のとおり。

○（安井会長）本市のスポーツ団体への補助金は、例年の活動実績を踏まえた継続的な支援が重要であり、まずはこれまでの活動が安定して継続できるよう補助額を担保することが肝要だ。特に相模原市スポーツ協会への補助額が突出しているように見えるが、活動母体の規模や利益享受人数を踏まえれば適正であると考ええる。

○（高橋委員）補助対象となる7団体は毎年同じなのか、それとも選定によって毎年入れ替わるのか確認したい。

●（石沢スポーツ推進課担当課長）基本的には毎年同じ団体が対象である。旧4町の合併時の経緯により引き継がれた補助対象団体（5つ）と、相模原市スポーツ協会、相模原市スポーツ推進委員連絡協議会が対象である。

○（安井会長）これまでの支援実績や母体の安定性を踏まえて継続的に補助がなされていると理解する。他の団体と比較して特別に優遇されているわけではなく、地域バランスを考慮した支援であると捉えている。

●（石沢スポーツ推進課担当課長）補足だが、市が主体となる実行委員会形式でイベントを実施する場合や、スポーツ協会に委託して事業を運営する場合もある。法令上、補助金の交付には審議会の意見を伺う必要があり、こちらの7団体への補助金交付が審議の対象となっている。

3 報告事項

【令和7年度相模原市スポーツ事業の予算概要等について】

担当から令和7年度相模原市スポーツ事業の予算概要について説明後、意見交換を行った。主な意見は次のとおり。

○（安井会長）令和7年度のスポーツ事業予算については増減がある中で、スポーツ振興に必要な人材、物資、資金の確保は欠かせない。企画費が全てスポーツ推進費に移ったとのことだが、企画費は無くなったということか。

●（石沢スポーツ推進課担当課長）以前はオリンピック・パラリンピック関連の事業を市の企画部門で所管していたため、レガシー事業に係る経費は企画費で計上していた。ここでレガシー事業の区切りに伴いスポーツ推進費に移行したものの。

○（市川委員）小山公園ニュースポーツ広場は、いつ頃開設したのか。

●（宮地スポーツ施設課長）平成19年開設で、今年17年目となる。

○（市川委員）近年は市ゆかりの選手が活躍しており、ぜひ改修して継続活用してもらいたい。

○（安井会長）オリンピックで注目を集めたスケートボードは、若者に非常に人気がある。市がこの分野を支援することで、若年層への応援メッセージにもなるだろう。可能であれば予算を確保し、世界規格に対応した施設整備を進めてほしい。

○（高橋委員）総合体育館（相模原ギオンアリーナ）は空調設備が整っており、快適に利用できるが、北総合体育館（ほねごりアリーナ）には空調設備がなく、夏場は利用者にとって負担が大きいため、北総合体育館（ほねごりアリーナ）にも空調を整備してほしい。

●（宮地スポーツ施設課長）北総合体育館（ほねごりアリーナ）については指定管理者のモニタリングなどにて利用者から空調設備の設置を求める声が多く寄せられている。大規模改修のタイミング等で空調設備の導入を検討したいと考えている。

○（安井会長）快適性だけでなく、熱中症対策として健康上の観点からも空調設備の設置は重要だ。ぜひ要望を上申していただきたい。

○（吉原委員）けやき体育館の空調工事は6月以降に実施されるのか。

●（宮地スポーツ施設課長）けやき体育館は所管外だが、特定天井の改修工事が行われると聞いている。

○（古菌委員）部活動の地域移行検討事業で、実証事業の団体が1団体から2団体に増えたと同ったが、その選定基準はどのようなものか。また、募集は行っているのか。

●（石沢スポーツ推進課担当課長）実証事業は国から市が受託しており、課題抽出を目的としている。今年度は中沢中学校と中野中学校の合同バスケットボール部で地域クラブへの移行を実施し、指導者への謝礼やユニフォーム制作費用などを委託料から支出した。今年度は挙手制ではなく、校長会と相談し、引き受けてくれる学校を選定したもののだが、来年度の選定方法はこれから検討を進める。

○（安井会長）大学の体育会所属の学生が部活動指導者となる仕組みは有効であり、大学の地域貢献にもなると考える。相模原市独自のコンソーシアム的なモデルを構築できれば、学生の持つスポーツ技術の地域還元にもつながるとともに、地域の選手の育成にも繋がるだろう。

●（石沢スポーツ推進課担当課長）指導者の確保は課題の一つであり、学生の力の活用は有力な選択肢だ。来年度以降、可能であれば実証し、将来的には拡充を目指したい。

●（加藤スポーツ推進課長）今年度、中学生スポーツネットワークセミナーとして、青山学院大学の学生の皆様にご協力いただき、素晴らしい指導をしてくださった実績がある。学生の皆様の人的な資源はとても貴重だ。今後ともご協力をお願いしたい。

○（安井会長）いつか、市内の児童が青山学院大学の学生に指導を受けて、将来プロで活躍するような、地域密着型の育成モデルができるとうい。

○（市川委員）総合型地域スポーツクラブの活動では、最近流行しているピククルボールを普及したいと考えている。現在、市内には講師がいない状況であり、大学やスポーツ団体と連携し、指導者を招くことで普及を促進できるのではないかと。

○（安井会長）私の大学ではピククルボールに取り組んでいる教員がおり、テニス協会ともつながりがあるので、講師派遣の可能性を探りたい。このような大学や団体との連携を通じて、新しいスポーツの普及を進めることは意義がある。

以 上

相模原市スポーツ推進審議会出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	安井 年文	学識経験者（青山学院大学教授）	会長	出席
2	鈴木 秀知	学識経験者（桜美林大学教授）		欠席
3	齋藤 仁美	学識経験者（トップアスリート）		出席
4	高橋 修一	公募市民		出席
5	木村 有美	公募市民		欠席
6	西岡 直子	（一社）相模原市医師会		欠席
7	勝又 修	（公財）相模原市スポーツ協会		欠席
8	篠原 真	相模原市小・中学校長会代表者会		欠席
9	岩永 謙治	相模原市PTA連絡協議会		欠席
10	上條 利夫	相模原市スポーツ推進委員連絡協議会	副会長	出席
11	岡本 和茂	相模原市公民館連絡協議会		出席
12	吉原 君子	（特非）相模原市障害児者福祉団体連絡協議会		出席
13	市川 裕子	総合型地域スポーツクラブ （あそべる大沼クラブ）		出席
14	古藺 雄士	ホームタウンチーム （ノジマステラ神奈川相模原）		出席